

福山民報

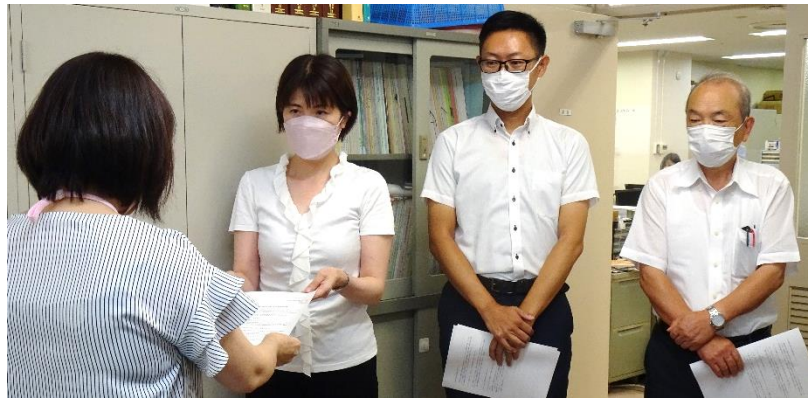
発行
福山民報社
福山市津之郷町
津之郷 970-1
Tel.084-952-2662
FAX084-952-2660



日本共産党福山市議団

新型コロナウイルス対策

市長に第11次緊急要望



新型コロナウイルス「第7波」の感染拡大を受け、日本共産党市議団（河村ひろ子、高木たけし、みよし剛史）は8月10日、枝廣直幹市長あてに緊急要望書を提出しました。感染対策担当部長兼福

社部長が対応しました。

福山市では10日、1日の陽性者数が1000人以上となり、病床利用率70%、自宅療養者数5000人を超える事態となりました。

党市議団は、検査や医療提供体制、保健所の強化など全13項目を要望しました。

部長は「県も抜本的な対策を検討しており、連携を密にしている」と答え、「保健所も大変疲弊している」との実情を明かしました。

河村市議は「コロナ患者に対応する医療従事者への特殊勤務手当の補助を県が3月で打ち切っている。現場は非常に苦勞しており、離職を防ぐためにも補助金の復活を県に求め、市としても独自

に支援を」と求めました。

また、夏祭りなどのイベント開催に対し、感染拡大を危惧する声が党市議団にも寄せられていることを伝え、縮小や中止も検討し、その際は事業者への影響を補償するよう要望しました。

みよし市議は「自宅療養者が多くなっており、不安の声が寄せられている。医療を適切に受けたいという声にこたえ、孤立させない体制を」と求めました。

◇ ◇

福山市は8月9日から、保健所業務のひっ迫により陽性者のうち65歳以上が重症化リスクのある人、妊娠している人のみ電話で連絡し、それ以外の人にはSMS（ショートメッセージ）で連絡して自宅療養してもらうとのこと（8月17日時点）。

食品など自宅療養セットや宿泊療養の申し込み、療養時の相談は「福山市自宅療養者相談センター（0570・200・357）」で受け付けています。

日本共産党

原爆死没者

慰霊碑に献花



左から、河村、井上、辻（後列）、志位、仁比、山添の各氏

8月6日、アメリカが広島に原爆を投下してから77周年を迎えました。

日本共産党は、広島市の平和記念公園で原爆死没者慰霊碑に献花し、犠牲者を追悼しました。

志位和夫委員長、仁比聡平、山添拓、井上哲士の各参院議員や辻つねお県議、河村ひろ子市議（広島県議予定候補）が参加しました。

核廃絶の先頭に

立つ日本を

日本共産党議員団は同日の原水爆禁止世界大会にも参加しました。志位氏は連帯の挨拶で「唯一の戦争被爆国の日本が核兵器のない世界をつくる先頭に立つためには、政治の姿勢を大本から変える必要がある」と指摘し、「核抑止論」に縛られる岸田首相を批判。「核兵器禁止条約に参加する政府をつくらう」と呼びかけました。

党市議団「終戦の日」宣伝



党市議団は15日に街頭宣伝を実施。通りがかった人から「日本共産党は」命がけで戦争反対を叫びたいんだよ。これからも頑張るよ。などの声がかかりました。

配布サポーター大募集！



日本共産党の議会報告やアンケートを配布します。お手伝いいただける方を大募集中です。自分が住むアパートなどで構いません。084-952-2662か、info@f-jcp.comにご連絡ください！